



今年も後1ヵ月となりました。新型コロナウイルス感染症の流行から早3年を経過し、また第8波とインフルエンザとの同時流行が懸念されています。11月にはインフルエンザ感染のお子様が多くあり、心配をしましたが、現在は感染症も落ち着いている状況です。しかし、寒い時期は感染症が流行ります。園でも感染症対策は引き続き講じてまいります。ご家庭でもお子さまの体調管理に十分な配慮をお願いします。

## 感染性胃腸炎に感染したら…

ノロウイルスやロタウイルスなどのウイルスが原因で、吐き気や嘔吐、下痢、腹痛などの症状が見られ、発熱する場合があります。  
下痢や嘔吐がある場合は早めに病院で診てもらい、脱水症状にならないよう、こまめな水分補給（スプーン1杯から）を心がけましょう。また、吐物や便にはウイルスが含まれているので適切な処理をし、片付け後は、手洗い・うがいをきちんと行ってください。



### 汚れた衣服は…

85℃の熱湯に1分以上浸けるか、塩素系漂白剤を薄めた物（脱色する可能性あり）で消毒します。

消毒ができれば洗濯機に入れても大丈夫です。

汚れた場所もしっかりと消毒（塩素系のもの）を行いましょう。※アルコールは消毒効果が期待できません

### 年末年始の急病は？

年末年始はほとんどの病院が休診となります。お子さまの急な発熱やけがに備えて、事前にかかりつけの病院の他、近くの救急病院の診療時間と休診日は確認しておきましょう。また、帰省先の救急病院の情報も把握しておくことが大切です。世田谷区の広報誌も確認しましょう。

## RSウイルス感染症

毎年、寒い時期に流行る呼吸器感染症です。1歳までに50%、2歳までにほぼ100%の乳児が感染しますが、終生免疫はないため、その後も再感染を繰り返します。生後6ヵ月以下の乳児は重症化して入院する場合もあり、特に注意が必要です。家族内にかぜ症状がある場合は、全員でマスクを着用して予防しましょう。

### 冬休みの注意点

お休みの間は生活リズムが乱れやすくなるので、夜は決まった時間にお子さまと一緒に布団に入るようにしましょう。また、ポットやファンヒーターなどによるやけどが増えています。お子さまの手が触れない工夫をお願いいたします。